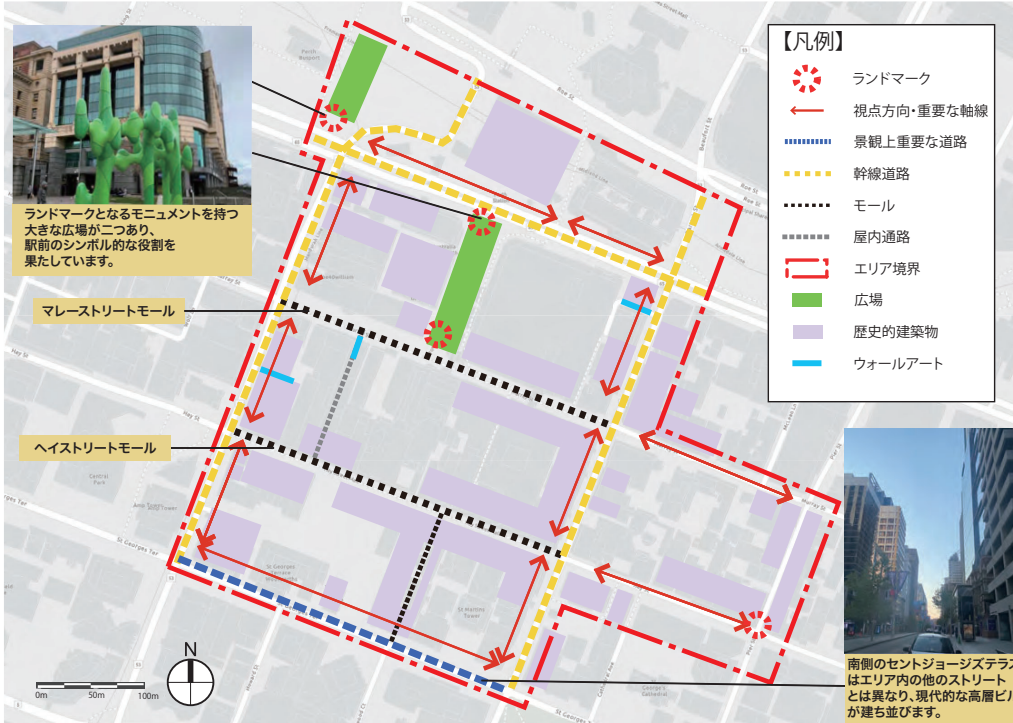


2-8 Perth駅南側モールエリア

2本のモールをメインに、パースの中心街として商業の核となるエリアです。駅前には2つの広場、モール、商店街があり、昼夜問わず人通りの絶えない場所となっています。他のエリアよりも歴史的な建築物が多く、古くからの街並みが強く保全されているのが特徴です。

景観特性



1. 商業の中心地となる2本のモール



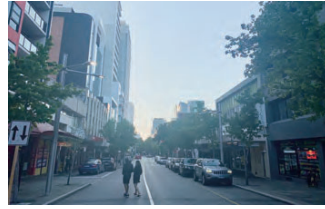
マレーストリート、ヘイストリートの2本のモールがあり、モール内には道路部分を埋めるように街路樹、ベンチ、モニュメントなどが設置されています。2階建ての店舗が高密度に建ち並び、人通りが絶えない駅前のメインストリートとして賑わいをもたらす空間となっています。

2. 保全された歴史的な街並み



パースの市街地では多くの歴史的建築物が保全されています。このエリアでは、2～3階建ての1階に店舗を有する建物が、ストリートに沿うように横長に建ち並んでいるのが特徴です。それが通りの連続性をもたらし、ストリートごとに統一感のある景観を生んでいます。

3. 歩車共存の商店街



マレーストリート、ヘイストリートは、車道が狭く、店舗が多いため、歩車共存のストリートとなっています。モール部分と同様に歩道にベンチやテラス席が設置されているケースが多く、それらがにぎわいをもたらしています。ファサードの高さが揃えられており、ストリートとしての統一感が演出されています。

景観形成の特徴

1. 商業の中心地となる2本のモール

- モール内にはベンチ、街路樹、オブジェなどがバランス良く設置され、アクティビティが連続して見えるようになっており、歩行者を飽かさせない工夫がなされている。
- 2本のモールをつなぐロンドンコートは、路地のような狭い道路空間に、3階建てのロンドンの街並みを模した建築を連続して高密度に建て、外部空間を遮断することでパースの他のストリートとは異なる雰囲気を持つ空間となっている。

具体的な保全策

- モール内の1階にある飲食店には、一定数のテラス席を設けることを義務付ける。
- 天空率が低いため、日差しを遮らないように周辺の地域に高度制限をかける。

2. 保全された歴史的な街並み

- エリア内の半分以上の建物が古くから残る歴史的建築物で、歴史的な設えが施された2～3階建ての建物が街並みを形成しており、他のエリアよりも歴史的な雰囲気が強く表れている。
- 2～3階建ての1階に店舗を有する建物が、ストリートに沿うように横長に建ち並んでいるのが特徴である。それが通りの連続性をもたらし、ストリートごとに統一感のある景観を生んでいる。

具体的な保全策

- エリア内の建物を建て替える際には、歴史的な街並みに配慮したファザード、高さであるかどうかを審査する。
- 街路樹の高さを低くして歴史的建築物を際立たせる。

3. 歩車共存の商店街

- 店頭で屋根がついており、軒先が突き出ている形状の建物が多く、2階以上と1階部分の空間を分けることで、2階以上の歴史的な設えとは異なる商店街らしい歩道空間が表現されている。
- 狭い道路空間で十分な歩道の広さを確保するために、歩道のくぼみに路上駐車スペースが確保され、細い車道のための単調な景観に変化をもたらしている。

具体的な保全策

- 幅の広い歩道を保全し、歩車共存を崩さない。
- 店舗の看板の形を揃える。



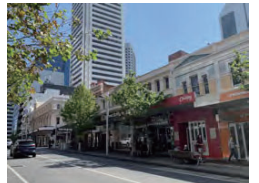
ロンドンコート



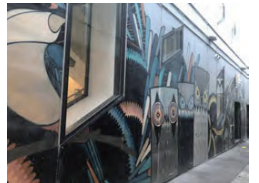
モール内の街路樹



ベンチが交流を生む



歴史的な街並み



ウォールアート



連なる店舗の看板



路上駐車スペース